

平成30年度 第1回 南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会 議事録

平成30年7月12日（木）
午後1時30分～3時00分
南丹市八木公民館 集会室3
せきれい東放課後児童クラブ

出席

富田委員長、吉田副委員長、小南副委員長、佐々谷委員、井上委員、大志万委員、
塩貝委員、阜委員、片山委員、日下部委員、明田委員、野々口委員
社会教育課 寺田課長、木上係長、梶原主事、加茂社会教育主事、清水社会教育主事

欠席

なし

*傍聴者0人

1 開会

2 寺田課長あいさつ

委員の皆様方には、本日、ご多用のところ本年度第1回目の『南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会』に、繰り合わせご出席いただきましてありがとうございます。

梅雨明けを間近にしながら発生いたしました先週末の大雨（平成30年7月豪雨）には、委員の皆様も随分ご心配されたものと思います。

本州付近に停滞していた梅雨前線に、南から大量の水蒸気を含んだ空気が継続的に流れ込んで、数日間にわたって降り続く記録的な大雨となり、九州から中国、近畿地方などの計9府県という広域にわたり大雨特別警報が出され、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらすという、ここ数十年の間では、最大の水害となりました。

本市においては、人命にかかわる被害はなかったものの、市内各地で災害が発生しており、今も、担当部署において復旧に向けた対応が進められているところです。

改めまして、被災された方々にお見舞いを申し上げますと同時に、非常変災時への対応と備えは各児童クラブの運営上、特に大切であり、引き続き、安全・安心の確保と、常に緊張感を持って運営を図って参りたいと強く感じたところであります。

さて、本年度の事業運営は、昨年度からの変更点を踏まえたものとなっております、国の法改正や『子ども・子育て支援新制度』の趣旨を反映し、今年度から受入対象学年を

6年生まで拡大しての初年度であることの他、本事業を支える支援員の資格条件の拡大変更等々、放課後児童健全育成事業に対する「国による量と質の拡大」のための具体施策が図られてきたという背景を踏まえての運営となっております。

このあと、放課後児童クラブの開設状況や運営状況などについて事務局からご報告をさせていただきますが、引き続き、安全・安心を基礎に置きながら、より快適な居場所となるよう、その運営に努めて参りたいと考えております。

運営委員の皆様方の活発なご協議・ご審議をお願い申し上げ、冒頭、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長・副委員長選出、運営委員紹介

選出方法 互選

- ・ 委員長 富田陽子 委員
- ・ 副委員長 吉田尋子 委員、 小南久仁子 委員

4 協議内容

◆放課後児童クラブとは

- ・ 資料のとおり

◆放課後児童クラブの生活

- ・ 資料のとおり

◆放課後児童支援員の役割

- ・ 支援員は、子どもの人権を尊重し、学校や保護者との連携を図り、日々の健康管理、安全確保に留意し、複数体制で勤務している。
- ・ 個人情報の取り扱い、プライバシーに関する守秘義務に留意。
- ・ 府主催の支援員認定資格研修について、平成32年3月までに支援員が受講する計画で南丹市からも受講しており、平成29年10月末時点で25名が受講中または受講を終えており、現在も4名が受講中。

◆平成30年度南丹市放課後児童クラブ開設状況

- ・ 事業概要 資料どおり
- ・ 対象児童 資料どおり (対象児童を小学校全学年に拡大)
- ・ 開設場所 実際の利用者数が定員をオーバーしている児童クラブがあるため、来年度の募集にむけて定員の見直しを予定している
- ・ 開設日数 平成22年度から土曜日の開設を行っており、園部地区では、たんぼぼ、

こすもすの預かりを合同で開設。10人程度の出席がある。八木、日吉、美山でも同様に、保護者の就労に合わせて、毎週ではないが複数クラブを合同により開設している。

- ・開設日・時間 下校時から午後6時30分で、長期休業時は午前7時45分から午後6時30分まで開設している。そのうち、午前7時45分から8時30分までの間は早朝預かりを登録された方のみ利用可能である。警報発表時等に児童クラブが臨時休みになる緊急措置基準について保護者に資料を配布し対応している。今後、警報発表時の放課後児童クラブの開設の在り方についても検討が必要になるが、今の時点では、警報が出ているような悪天候の中を施設の安全面も確保しながら支援員が出勤し、児童を受入れることは難しい状況である。
- ・入部児童数 資料に申込者数を記載。利用者数は、児童クラブごとにひと月のうち、最も利用者が多かった日を記載している。
- ・支援員体制 資料どおり クラブによって違うが、大人数の間では概ねひとりの支援員が10人前後の子どもを常にみている。支援員の雇用は、半年ごとに臨時職員の契約を結ぶ。子どもたちの授業が終わる時間に合わせて出勤し、支援員と学校との定期的な連携会議を行い、子どもに心配な面が顕著に見られる場合等は学校での対応について話を聞かせていただくこともある。また、虐待ケース等には、事務担当者が子育て支援課の担当と連携し、毎月のケース進行管理や個別のケース会議にも出席している。平成30年度から代表支援員の位置付けを見直し、定期的な代表支援員会議を行い、各クラブでも代表支援員を中心としたチームワークで働くことを大切にしている。
- ・支援員研修 支援員研修を積極的に進めている。年度当初の4月や夏休み前には新規採用者研修を行い、支援員としての業務内容や児童対応等の細かな配慮事項を伝えている。支援員全体研修は年4回実施を予定していたが、7月初旬の救急救命講習は大雨のため中止となった。
- ・保護者負担金 F階層が約50%、A・B・C・D・Eがそれぞれ10%前後となっている。以前から要望が多かった口座振替について現在調整中で、来年度からの対応にむけて準備を進めている。あわせて、保護者負担金の算定月についても変更予定である。

◆その他

(委員) 支援員の数について、夏休み中は児童数が増えて朝から開設されるので、支援員の数がギリギリだと思う。夏休みに追加で採用されると思うが、採用された方の研修は新規採用者研修で対応しているのか。

(事務局) 本日、夏休みお世話になる支援員の研修を行った。運営指針に基づき、子どもの人権の尊重や守秘義務などを伝える大切な研修である。平日の昼間であり、参加ができない支援員には個別に伝えることにしている。

(委員) 警報発表時の基準は定められているが、震度4以上の地震が発生した場合の対応についても決めておけばいいと思う。保育所は自宅待機を定めている。学校がある時は

学校の対応に準じると思うが、夏休み中のこともあるので、定めておく方がいいと思う。
(事務局) 震度4以上の場合には対応が必要だと思う。子育て支援課に情報提供いただくなど、今後の方針を検討したい。

質問事項、意見

(委員) 園部たんぼぼに153名の申込みがあったとのことであるが、丁寧に対応されており、子どもたちも毎日楽しく通っている。学校の方で対応できることがあれば、またお聞かせいただきたい。

(委員) これから夏にむけてお世話になるがよろしくお願ひしたい。支援員と学校との定期的な連携もお世話になっており、今後ともよろしくお願ひしたい。

(委員) 子どもたちと一緒に下校し、胡麻どんぐり児童クラブの様子を見せていただいた。帰ったらまず手洗いをし、当番が司会をして一日の楽しかったことを交流しておやつを食べ、楽しそうに過ごしていた。学校のすぐ横で開設されており、子どもたちの声が聞こえる。時々様子を見せていただく。また下校時には支援員と言葉を交わしたり、年度当初には担任との連携会議をしていただき、学校と児童クラブで子どもたちの生活がななっていると感じている。

(委員) 変災時の話があったが、昨日、避難訓練をされていた。本校もグラウンドをはさんで目の前に位置しており、様子をうかがうことができる。宿題を終えてから遊ぶ習慣や一輪車の練習など、子どもたちにいい機会を与えていただいている。

(委員) 安全対策を取っていただき、子どもの成長面からもありがたく思っている。今後ともよろしくお願ひする。

(委員) 災害について、児童クラブに限ったことではないが、保護者への連絡手段として電話の連絡網ではつながりにくい。他の保護者との話の中で出た内容であるが、先生から何十人に電話をかけられているが、メールでの一斉送信ができれば、適格に端的な内容で混乱を最小限にした情報発信できるのではないかと意見があるので、参考にしていただきたい。安全面について、八木せきれい西では、下校検定をされており、リーダーになってみんなを連れて帰るための試験がある。子ども本人が頑張っ、合格し、表彰状やワッペンをいただいた。みんなが安全に下校しようとする気持ちが高まり、いい取り組みだと思ふ。感謝している。

(委員) 支援員のみなさんには丁寧接していただき、元気に帰ってくる。これからもよろしくお願ひする。

(委員) 子ども様子を見たわけではないが、子どもは楽しそうに帰ってくる。子どものケガなど、小さなことでも報告していただき感謝している。これからもよろしくお願ひする。

(委員) 児童クラブのレベルが上がっていると思ふ。2年ほど前にとったアンケートの課題がまだ解決されていないものもあると思ふので、今後、課題を解決しながらさらに上

を目指していただきたい。

(委員) 学校から遠距離にある児童クラブが2か所あることが気になる。八木せきれい東では長時間歩くのでその間の支援員の負担が大きいと感じる。またその間の事故も心配であり、今後検討が必要であると思う。園部たんぼぼでは、着けば広くていい施設でありスムーズにいらっていると教育委員会からも聞いているが、移動に時間がかかることが課題である。他の児童クラブと比べて時間的な余裕がないと感じる。

災害の時間帯によっては、引き渡しに難しいこともあると思う。時間帯ごとの引き渡しについて、しっかりとした方針を立てておく必要がある。

支援員について、夏休みにむけての研修会があるが、夏休みのみの登録支援員数はどうか。

(事務局) 現時点で10名ほどの登録を得ている。短期間の方や大学生の方もあり、定期的に入っただけの方とそうでない方との組み合わせを現在検討している。

(委員) 夏、一日保育となるので、支援員の負担が大きいと聞いている。支援員が休む時間も必要であると思うが、その余裕がないと聞いている。できるだけ支援員の負担も考えて体制を作っていただきたい。

(委員) 支援員の確保が毎年課題であると思う。長く続けられる方もあれば、短期の方もいる。子どもの安全、支援員の安全、精神面のことも考慮し、支援員が長く続けられて、長く子どもたちと関係を持てるような定着できる体制を作っていただきたい。

先日、摩気で不審者問題があった。不審者対策はどのようにしているのか。

(事務局) 昨年5月に全員研修で防犯研修を実施し、南丹警察の方にお世話になって研修を受けた。クラブによって施錠できているところもあれば、施設面で施錠できていないところもある。保護者には名札を配布し迎えの際には携行いただくこととしており、不審者の侵入には気を付けている。また防犯メール等により情報を得た場合には、その内容を各クラブに伝えるなど対応を行っている。

(委員) 引き続きお願いしたい。

(支援員) さきほど委員からあったように長い距離を歩いて下校している。この暑さであったり、寒い時や大雨の中も、大きな荷物を持ちながら、1.3kmは子どもたちにとって長い距離である。20名弱の人数であるが、途中でしんどいとカバンをおろしたりする子もあり、みんなで歩くのが大変な状況である。児童クラブ到着時には、学校でのことを引きずったまま帰ってくる子もある。少しでも子どもたちの気持ちに寄り添いながら支援を続けたいと思う。

◆平成30年度南丹市放課後児童クラブ開設予定

- ・施設規模に合った定員の見直し
- ・保護者負担金の算定方法、算定期の見直し
- ・夏休みの遠足等の行事について、安全面に配慮し、緊急時のことや天候のことを考えて

近隣での対応とする予定。

5 八木せきれい東放課後児童クラブ見学

(閉会挨拶後)

6 閉会挨拶

お忙しい中ありがとうございました。これから長い夏休みを迎えるが、なにより、子どもたちが安全で楽しく過ごしてほしい。またいろいろとご意見をいただき、みなさんで考えていきたいと思う。

以上